

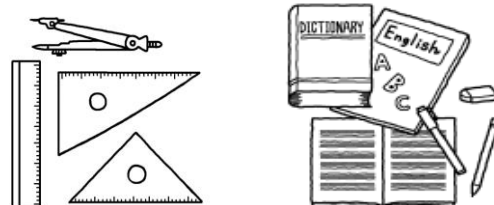
学校設定教科「五高ベーシック」について

秋田県立五城目高等学校

ねらい

- ① 合格者のニーズに応えます
本校の合格者の多くが、中学校での学習が不十分であることを自覚しています。高校入学後にも復習する機会をつくることで、高校での学習への不安を取り除きます。
- ② 高校の学習にスムーズに接続します
高校の学習は、中学校での学習を前提にしています。中学校で習っても理解が不十分であったり忘れていたりすると、最初からつまづいてしまいます。中学校の復習をすることによって、スムーズに接続できます。
- ③ 「五高ベーシック」の学習習慣が高校生活の充実につながります
授業がわからなければ学習の意欲がわきません。高校の学習は、家庭学習の習慣がなければ身につけません。中学校の復習というわかりやすい部分からスタートして、高校の学習につなげていき、学習習慣を身につけることによって高校生活を充実させ、卒業後の進路達成をめざします。

やり方



- ① 1週間に、2時間行います。
- ② 内容は英語、数学の2教科です。
- ③ 習熟度別少人数クラスで実施します。
- ④ 中学校での学習内容を「もう一度教える」講義を行い、その後「演習」を行います。グループにより複数の先生方が指導します。
- ⑤ 取り組んだプリントの枚数、プリントへの取り組み方、授業態度、確認テストにより評価を行います。

《五高ベーシックの実施について》

1. 火曜日 4 校時と木曜日 6 校時に行います。

2. 1 年生 3 クラス (A 組 B 組 C 組) を下記のように、2 つのグループに分けた後、その学習内容によって更に 2 つに分け、4 教室に分かれて少人数での学習を進めます。

A 組と B 組半分		B 組半分と C 組	
① 習熟度別 OR グループ別	② 習熟度別 OR グループ別	③ 習熟度別 OR グループ別	④ 習熟度別 OR グループ別

(1) 数学か英語のどちらかの勉強を 2 回続けて行ったあと、その教科とは別の教科の勉強を 2 回続けて行います。

もう少し具体的に言うと、片方のグループが数学を 2 回続けて行ったあと英語を 2 回続けて行うとすると、もう一方のグループは同じ期間に英語を 2 回続けて行ったあと、数学を 2 回続けて行います。これを、1 年間を通して繰り返します。

【授業予定】

	第 1 期間			
	5 月上旬	5 月中旬	5 月中旬	5 月下旬
ABグループ	数学 1 回目	数学 2 回目	英語 1 回目	英語 2 回目
BCグループ	英語 1 回目	英語 2 回目	数学 1 回目	数学 2 回目
	第 2 期間			
	5 月下旬	6 月上旬	6 月上旬	6 月中旬
ABグループ	数学 3 回目	数学 4 回目	英語 3 回目	英語 4 回目
BCグループ	英語 3 回目	英語 4 回目	数学 3 回目	数学 4 回目
	第 3 期間			
	6 月中旬	6 月下旬	6 月下旬	6 月下旬
ABグループ	数学 5 回目	数学 6 回目	英語 5 回目	英語 6 回目
BCグループ	英語 5 回目	英語 6 回目	数学 5 回目	数学 6 回目

以下省略

(2) 学期ごとに確認テストを行います。

1 学期の確認テストは 6 月末の予定です。

50 分の授業を半分にして、英語と数学のテストを実施します。

3. 授業は次のように行います。

- (1) 講義を行った後に演習を行う、というのが授業の基本形です。
- (2) 4グループに対して9人の先生方が指導に当たります。
配置は次のとおりです。
【英語】 英語科、国語科、芸術科の5人の先生方が一緒に指導してくれます。
【数学】 数学科、理科、芸術科の4人の先生方が一緒に指導してくれます。
- (3) 必要に応じて先生方が講義を行います。
英語内容の授業の時は、英語科教員が講義を行い、演習は全員で指導に当たります。
また数学内容の授業の時は、数学科科教員が講義を行い、演習は全員で指導に当たります。
- (4) 演習プリントは、原則として自己採点します。
- (5) 演習プリントは、授業時間内に先生方がチェックします。チェックを終えたプリントは回収し、次の時間に返却します。
- (6) 適宜、確認テストを行います。

4. 評価については次のように行います。

- (1) 「知識・理解」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の三つの観点から評価します。
- (2) 「知識・理解」「思考・判断・表現」は、英語的内容は「確認テスト」「プリント得点」、数学的内容は「確認テスト」「学習後テスト」で評価します。
- (3) 「主体的に学習に取り組む態度」は、英語的内容については「授業姿勢」「提出状況」で、数学的内容については「授業姿勢」「学習記録表」で評価します。

英語			数学		
確認テスト	25点	合計 50点	確認テスト	25点	合計 50点
提出状況	15点		学習記録表	15点	
授業姿勢	10点		授業姿勢	10点	

5. その他

- (1) 演習プリントやファイルのサイズはA4です。
- (2) 「英語」と「数学」のファイルは学校で用意します。
- (3) ファイルにはテキストや演習プリントをとじます。

【1年生五高ベーシック】年間指導計画

科目名	五高ベーシック	学 年	1	単位数	2
学習のねらい	五高1年生の弱点や高校での学習に復習しておくべき分野について、重点的に学び直しをして、義務教育段階での学習内容を定着させ、高校での学習にスムーズに取り組めるようにする。				
学 習 内 容			到 達 目 標		
1 学 期	【英語科分野】 語法（人称、数、代名詞、be動詞） 【数学科分野】 計算の基礎（四則演算・小数・分数・比）、 割合・単位（百分率・歩合と小数・分数）		【英語科分野】 人称、数に関する概念を理解する。 【数学科分野】 基本的な計算能力・一般常識を身につける。		
2 学 期	【英語科分野】 語法（be動詞の否定文・疑問文・現在形・過去形、一般動詞の現在形・3人称単数・否定文・疑問文）、 単語、文化教養基礎 【数学科分野】 割合・単位（百分率・歩合と小数・分数）、 量と測定、様々な数（正負の数、平方根）、 方程式・不等式		【英語科分野】 be動詞、一般動詞の語法について理解する。文の転換について理解する。 【数学科分野】 基本的な計算能力・一般常識を身につける。		
3 学 期	【英語科分野】 語法（一般動詞過去の否定文・疑問文、助動詞） 【数学科分野】 様々な数（正負の数、平方根）、方程式・不等式		【英語科分野】 一般動詞（過去）の文、助動詞を含む文を正確に読んだり書いたりできるようにする。 【数学科分野】 基本的な計算能力・一般常識を身につける。		
評 価 方 法					
1. 前ページ参照のこと。					
学習のアドバイス等					
1. 配布プリントは必ずファイリングすること。					